

# 世界遺産 Quiz

## モン・サン・ミシェル (フランス)

悠  
遊  
大  
人  
の

Q

中世のフランスでは、この修道院を訪れる者はあるものを書いておいた方がよいといわれていました。それは何でしょうか？

1. 懺悔文 2. ラブレター 3. 遺書 4. 履歴書



●アクセス  
フランス北西部のノルマンディー地方とブルターニュ地方の境界にあるモン・サン・ミシェルへの所要時間は、パリから特急列車とバスで約4時間。

●答え…… (3)

【解説】この修道院のある湾は潮の干満の差が非常に激しく、ある時間になると沖合10<sup>km</sup>以上まで引いていた潮が一気に押し寄せ、毎年多くの巡礼者たちが高波にのみ込まれて命を落としたため、修道院に渡る前には遺書を書き残しておいた方がよい、といわれるようになったのである。ちなみに19世紀の末頃、修道院に安全に渡るための堤防がようやく造られた。

【メモ】モン・サン・ミシェルとは「聖天使ミカエルの山」という意味で、「岩山に礼拝堂を建てよ」という夢のお告げを受けた司祭によって8世紀に建設された。ちなみに、潮の流れを変え周辺の陸地化が進行したという理由で、現在堤防は取り壊され、2012年の完成を目指して連絡橋の工事が行われている。

協力：NPO法人 世界遺産アカデミー 2008年の世界遺産検定は9月28日(日)